

沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要(港湾空港所管)

開催日及び場所		平成22年6月28日(月) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 講師) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科)	
対象案件		総件数 4 件	(備考)
建設 コン サル タ ン ト 業 務	一般競争入札(総合 評価落札方式)	1 件	
	公募型プロポーザル 方式	件	
	簡易公募型プロポー ザル方式	1 件	
	簡易公募型に準じた プロポーザル方式	2 件	
	標準プロポーザル方 式	件	
	公募型総合評価落札 方式	件	
	簡易公募型総合評価 落札方式	件	
	簡易公募型に準じた 総合評価落札方式	件	
		意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の 内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り 了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事案の審議について</p> <p>1. 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>1) 那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)構造外1件業務</p> <p>○ 新構造の防波堤とはどういうものか。</p> <p>○ 業務名の外1件の内容はどういうものか。</p> <p>2. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 那覇空港滑走路増設環境影響検討業務</p> <p>○ 参加表明者2者の内、1社辞退となっているが理由はあるのか。</p> <p>○ ヒアリングの実施方針の実施手順の点数が10点中2.9点と低いと思われる。下限値はないのか。</p> <p>2) 琉球石灰岩層を支持層とする橋梁基礎の設計・施工技術検討業務</p> <p>○ 参加表明者3者の内、1社辞退となっているが理由はあるのか。</p> <p>○ 支持層(島尻泥岩)の出現深度はどれくらいか。</p> <p>○ 那覇港臨港道路若狭2号線を対象としているが、径間長はどれくらいか。</p> <p>○ 予備設計で空洞等確認しているのか。</p> <p>3. 一般競争入札(総合評価落札方式)</p> <p>1) 管内水中部施工状況確認業務</p> <p>○ 当業務は再公告を行っているが、再公告に至った経緯とその理由はどのようなのか。</p> <p>4. その他</p>	<p>・ 通常のケーソン構造は矩形であるが、環境共生機能(サンゴ、藻場等)を配慮し、六角ケーソン等凹凸構造を考慮した防波堤の検討を行う。</p> <p>・ 外1件とは、水理模型実験を指している。</p> <p>・ 電子システム上、辞退のみを表明することとなっているため、理由は不明である。</p> <p>・ 0点の場合のみ欠格となる。</p> <p>・ 電子システム上、辞退のみを表明することとなっているため、理由は不明である。</p> <p>・ 島尻泥岩層はDL-50.0m付近でそれより上層が琉球石灰岩層である。支持杭を浅くすることによるコスト縮減を考えている。</p> <p>・ 片側1車線の径間長は約20m程度である。</p> <p>・ 予備設計時に空洞および土質のバラツキを確認しているが、本業務において空洞等を詳細に把握するための現地調査内容を検討する。</p> <p>・ 当初公告した案件については、競争参加資格要件を満足する社がいなかったため、当該業務が適切に実施できることを前提に競争参加資格要件の見直しを行い、再度公告している。</p>